

平成 24 年度  
かわさき市民アンケート  
報 告 書

川 崎 市



# 目 次

I	調査概要	1
II	調査回答者の属性	5
1	第1回アンケートの回答者	7
2	第2回アンケートの回答者	11
III	調査結果	15
①	第1回アンケートの結果	17
1	市民の防災意識について	19
1-1	防災訓練への参加状況	19
1-2	防災訓練に参加しない理由	22
1-3	防災に関する家庭内での取組について	25
1-4	市内の災害に関する緊急情報の入手手段	28
1-5	緊急地震速報の入手手段	31
1-6	緊急地震速報が出たときの行動を考えているか	33
1-7	「災害用伝言ダイヤル(171)」体験利用の認知度	35
2	川崎らしいスマートシティについて	37
2-1	「スマートシティ」の認知度	37
2-2	川崎らしいスマートシティについて重要と考えるもの	39
2-3	省エネ機器等の導入状況・導入意向	41
2-4	省エネ機器等の導入にあたって重視した(する)こと	47
2-5	太陽光パネルを導入できない(しない)理由	49
2-6	日常生活における節電・省エネについての意識状況	51
2-7	個人や家庭での節電・省エネ対策の取組について	53
3	動物愛護と適正飼養について	58
3-1	ペットの飼育状況	58
3-2	飼育しているペット	61
3-3	ペットの防災対策	64
3-4	ペットによる迷惑を受けたことがあるか	66
3-5	迷惑を受けたペット	68
3-6	どのような迷惑を受けたか	70
3-7	「川崎市動物の愛護及び管理に関する条例」のうち、守られていないと思うこと	72
3-8	今後さらに充実してほしい動物に係る業務	74
3-9	動物愛護行政を推進するために市が取り組むべきこと	77
4	感染症情報センターについて	80
4-1	興味のある感染症の情報について	80
4-2	新ホームページにあると便利な機能について	82
4-3	感染症情報センターの情報発信について	84
4-4	感染症に関する情報源で最も情報を得やすいと思うもの	86
4-5	感染症の流行状況に関する情報源	88
4-6	感染症の流行状況の情報を得ていない理由	90

4-7	川崎市健康安全研究所が提供する情報で興味のあるもの	92
5	特定非営利活動法人(NPO法人)等への寄付促進について	94
5-1	市内で活動しているNPO法人の活動などの認知度	94
5-2	NPO法人に関する情報提供に効果的だと思う媒体	96
5-3	NPO法人の活動への参加経験	98
5-4	NPO法人の活動に参加する際に重視すること	100
5-5	NPO法人の活動に参加したことがない理由	102
5-6	NPO法人に対する寄付について	104
5-7	寄付先を見つけたり、寄付する際に効果的だと思う手法	106
②	第2回アンケートの結果	109
1	定住状況について	111
1-1	居住年数	111
1-2	定住意向	113
1-3	転居意向の理由	116
1-4	転居先の希望	119
2	生活環境の評価について	122
2-1	生活環境の満足度	122
2-2	総合的な生活環境の満足度	133
3	関心ごとと行動範囲について	137
3-1	関心を持っていること	137
3-2	行動範囲	140
4	市政に対する評価と要望について	146
4-1	市政の仕事でよくやっていると思うこと	146
4-2	市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと	150
4-3	施策や事業の総合的な満足度	154
5	川崎市自治基本条例について	157
5-1	川崎市自治基本条例の認知度	157
5-2	川崎市自治基本条例の認知媒体	159
5-3	地域の課題解決のために望ましい公共的な役割の在り方	161
5-4	市政参加の方法	163
5-5	市政に参加したくない理由	170
5-6	市民等と行政が協働して行う取組・イベントへの参加状況	172
5-7	市民と行政の協働推進のために進めていくとよいと思うこと	174
6	男女共同参画社会の形成について	176
6-1	男女共同参画社会等の認知度	176
6-2	男女の役割を固定する考え方について	186
6-3	家事に費やす時間について	188
6-4	育児に費やす時間について	191
6-5	介護に費やす時間について	195
6-6	個人の自由時間の中で重視している活動	199
6-7	女性が働き続ける上で必要なこと	201
6-8	男性が家事・育児等に積極的に参加していくために必要なこと	203

6-9	男性が育児休業等を取得することについて	205
7	川崎市の緑の満足度について	215
7-1	市域全体の緑の満足度	215
7-2	居住地域（区）の緑の満足度	218
7-3	保全を希望する緑の場所	221
7-4	緑化を希望する地域	224
7-5	市街地を緑豊かにする方法	227
7-6	緑化活動の参加経験	233
7-7	緑化活動へ参加していない理由	235
7-8	緑化活動を活発にするために必要だと思うこと	237
8	かわさきの農業について	239
8-1	「農」について関心のある事柄	239
8-2	直売で野菜・果物を購入したことがあるか	241
8-3	直売で野菜・果物を購入した理由	244
8-4	「大型農産物直売所セレサモス」の認知度	247
8-5	「大型農産物直売所セレサモス」の利用経験・利用意向	250
8-6	大型農産物直売所の必要性について	253
8-7	「かわさきそだち」の認知度	256
8-8	市民農園、農家への援農、家庭菜園などを行ってみたいか	258
8-9	市内の農地についてのプラス面・マイナス面	260
8-10	市街化区域の農地減少について、今後どのようにしたら良いか	264
8-11	自分の暮らしの中に「農」を取り入れるなら	266
8-12	かわさきの農業に期待すること	268
9	住まいの良質化に向けた取組について	270
9-1	住宅を長く使い続けるために重要だと思うこと	270
9-2	関心のあるリフォーム工事	273
9-3	今後リフォーム工事を行う予定があるか	276
9-4	リフォーム工事を行わない(できない)理由	279
9-5	リフォーム工事による効果の認知状況	282
9-6	リフォームを行う場合にほしいと思う情報	284
9-7	住まいに関する制度についての認知度・関心度	286
IV	調査票	289



# I 調查概要



## 1. 調査の目的

「かわさき市民アンケート」は、昭和 50 年度から毎年 1 回 1,500 人を対象として行っていた「市民意識実態調査」を、より多くのテーマ、より多くの対象に調査するため、調査回数を年 2 回、各回 3,000 人の市民を対象にした調査に拡充し、名称を変更して平成 18 年度から実施することとしたものである。

昭和 50 年度から継続的に行ってきた市民の定住状況、生活環境の評価、市政に対する評価と要望等に加えて、市民生活に関するいくつかのテーマなどについて、市民の生活意識や行政に対する意識を調査し、市政運営や政策立案の参考資料とすることを目的として実施した。

## 2. 調査の方法

- (1) 調査の地域 川崎市全域
- (2) 調査の対象者 川崎市在住の満 20 歳以上の男女個人
- (3) 標本の抽出 住民基本台帳からの層化二段無作為抽出
- (4) 標本数 第 1 回 3,000 標本 (平成 24 年 7 月抽出)  
第 2 回 3,000 標本 (平成 24 年 10 月抽出)
- (5) 調査方法 郵送法 (郵便配布一郵送回収・はがき督促を 1 回)
- (6) 調査期間 第 1 回 平成 24 年 7 月 19 日 (木) ~ 8 月 9 日 (木)  
第 2 回 平成 24 年 11 月 1 日 (木) ~ 11 月 22 日 (木)
- (7) 調査委託機関 社団法人<sup>よろん</sup>輿論科学協会

## 3. 調査項目

### ◎ 第 1 回

<調査テーマ>	<問番号>
(1) 市民の防災意識について	(問 1~問 6-1)
(2) 川崎らしいスマートシティについて	(問 7~問 11)
(3) 動物愛護と適正飼養について	(問 12~問 16)
(4) 感染症情報センターについて	(問 17~問 22)
(5) 特定非営利活動法人(NPO法人)等への寄付促進について	(問 23~問 27)

### ◎ 第 2 回

<調査テーマ>	<問番号>
(1) 定住状況について	(問 1~問 2-2)
(2) 生活環境の評価について	(問 3~問 4)
(3) 関心ごとと行動範囲について	(問 5~問 6)
(4) 市政に対する評価と要望について	(問 7~問 9)
(5) 川崎市自治基本条例について	(問 10~問 14)
(6) 男女共同参画社会の形成について	(問 15~問 21)
(7) 川崎市の緑の満足度について	(問 22~問 28)
(8) かわさきの農業について	(問 29~問 38)
(9) 住まいの良質化に向けた取組について	(問 39~問 45)

## 4. 回収状況

	第1回	第2回
(1) 標本数	3,000 標本	3,000 標本
(2) 有効回収数	1,380 人	1,400 人
(3) 有効回収率	46.0%	46.7%

## 5. 報告書の見方

- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が 100.0%にならない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数 (n) は、設問に対する回答者数である。
- (3) 回答の比率 (%) は、その質問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると 100.0%を超えることがある。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。
- (5) 回答数が 30 未満と小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。

## 6. 標本誤差

標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数 (n)、②回答の比率 (p) によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

{

N=母集団数 (川崎市の20歳以上人口)

n=比率算出の基数 (回答者数)

p=回答の比率 (%)

今回の調査結果の標本誤差は下記のようなになる。

回答比率 (p) \ n	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
1,400	±2.27%	±3.02%	±3.46%	±3.70%	±3.78%
1,380	±2.28%	±3.04%	±3.49%	±3.73%	±3.80%
1,000	±2.68%	±3.58%	±4.10%	±4.38%	±4.47%
700	±3.21%	±4.27%	±4.90%	±5.24%	±5.34%
500	±3.79%	±5.06%	±5.80%	±6.20%	±6.32%
300	±4.90%	±6.53%	±7.48%	±8.00%	±8.16%

※上表は  $\frac{N-n}{N-1} \div 1$  として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は 95%である。

注/この表の見方

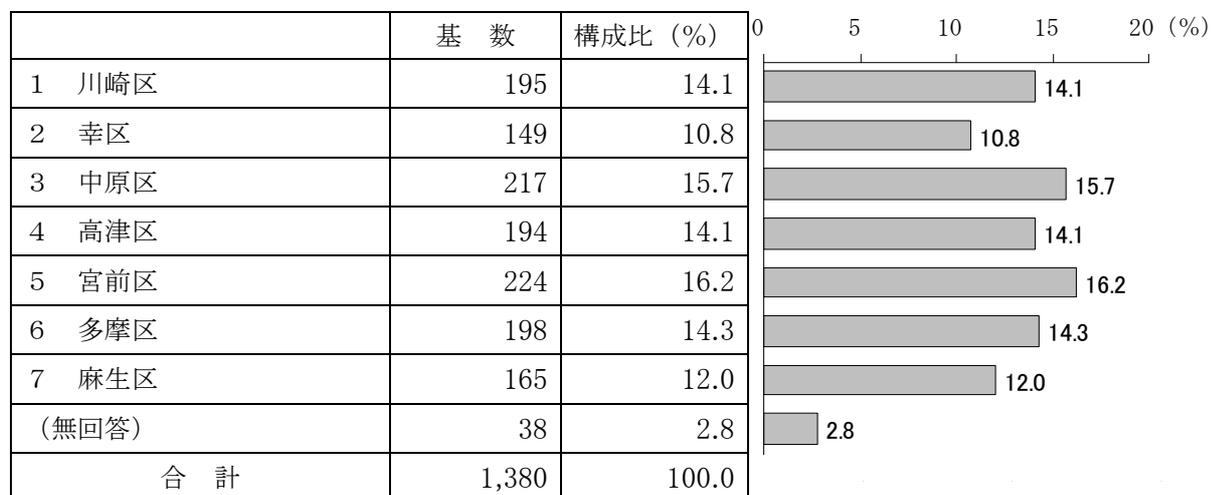
標本誤差とは、今回のように全体 (母集団) の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算することが可能である。その計算式を今回の調査に当てはめて算出したのが、上記の表である。見方としては、例えば、「ある設問の回答者数が 1,400 人であり、その設問中の選択肢の回答比率が 60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも ±3.70%以内 (56.30~63.70%) である」とみることができる。

## Ⅱ 調査回答者の属性



# 1 第1回アンケートの回答者

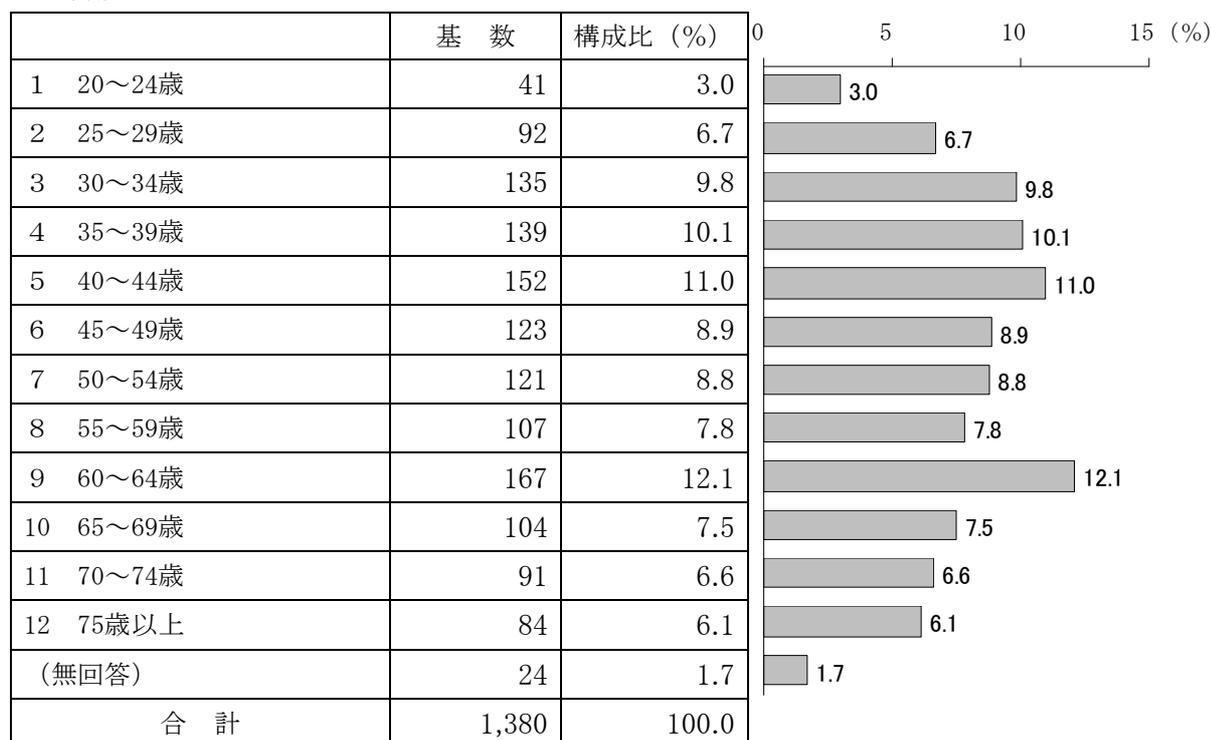
## 1 居住区



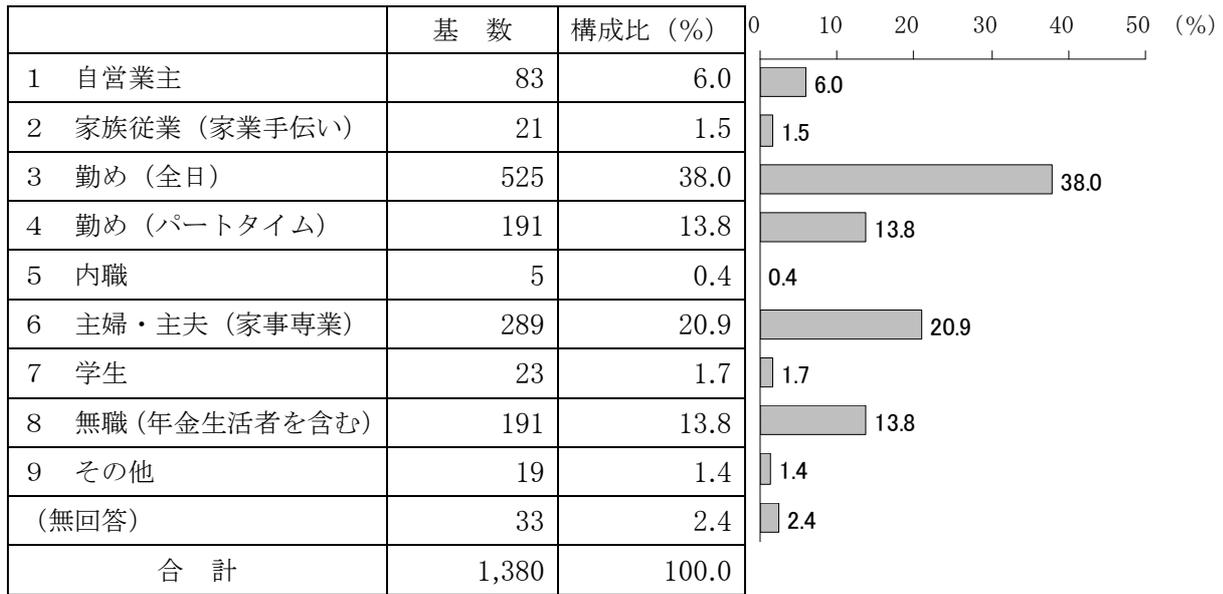
## 2 性別



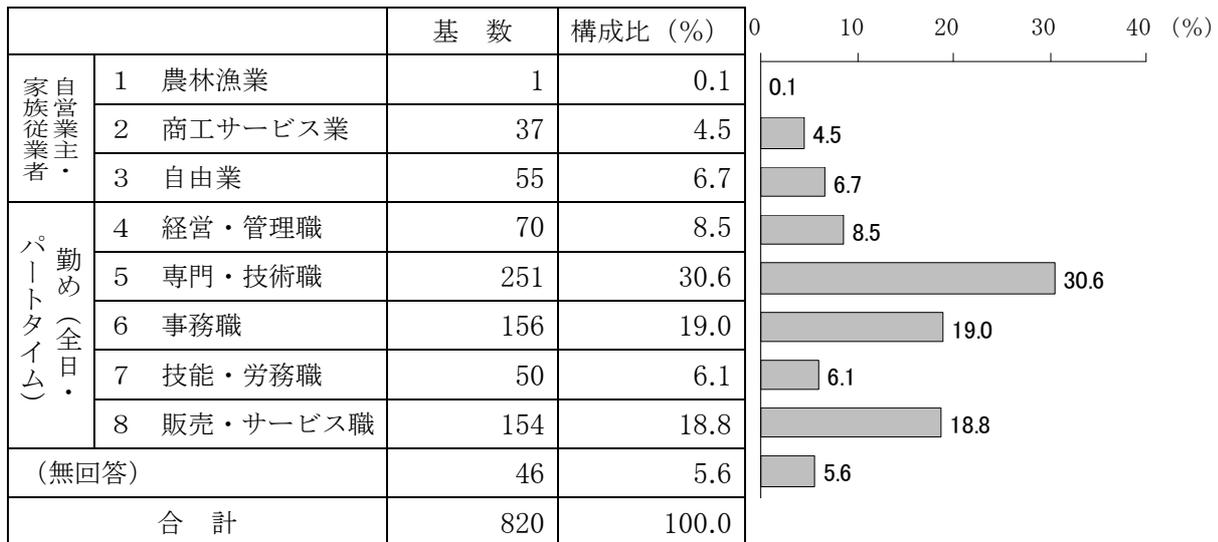
## 3 年齢



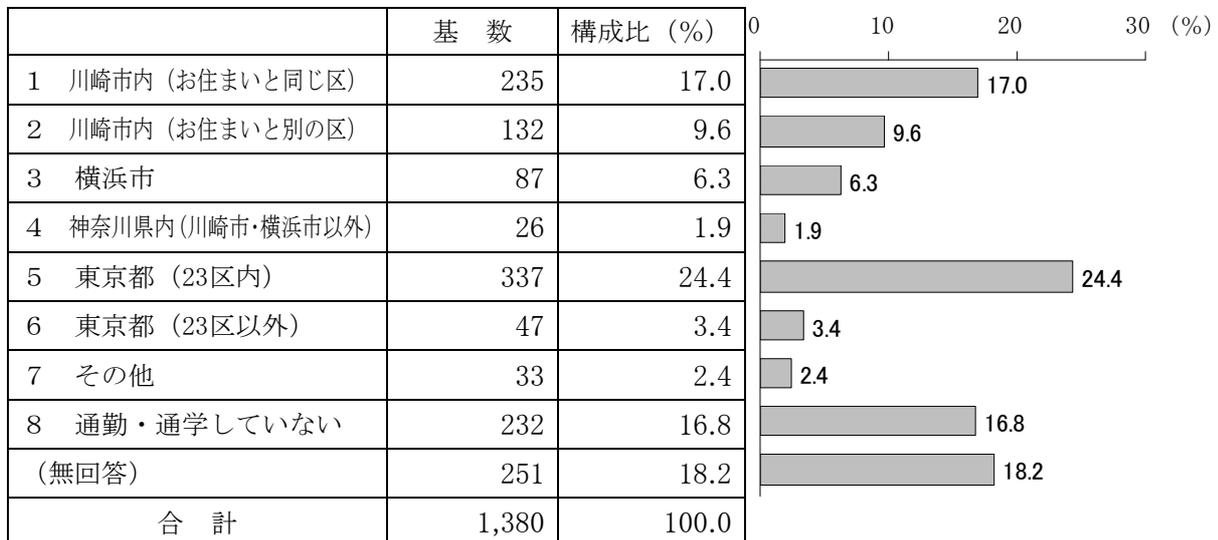
#### 4 職業



#### 5 具体的な職業内容



#### 6 通勤先・通学先



## 7 駅までの交通手段

	基 数	構成比 (%)
1 徒歩	689	49.9
2 自転車	181	13.1
3 バイク (原付含む)	20	1.4
4 バス	270	19.6
5 自動車 (送迎含む)	73	5.3
(無回答)	147	10.7
合 計	1,380	100.0

## 8 住居形態

	基 数	構成比 (%)
1 持ち家 (一戸建)	506	36.7
2 持ち家 (マンション・集合住宅等)	395	28.6
3 借家 (一戸建)	26	1.9
4 借家 (マンション・集合住宅等・公営住宅)	255	18.5
5 借家 (民間アパート・間借・下宿)	123	8.9
6 社宅・寮・公務員住宅	24	1.7
7 その他	8	0.6
(無回答)	43	3.1
合 計	1,380	100.0

## 9 家族構成

	基 数	構成比 (%)
1 1人	181	13.1
2 2人	398	28.8
3 3人	368	26.7
4 4人	262	19.0
5 5人	71	5.1
6 6人	41	3.0
7 7人以上	15	1.1
(無回答)	44	3.2
合 計	1,380	100.0

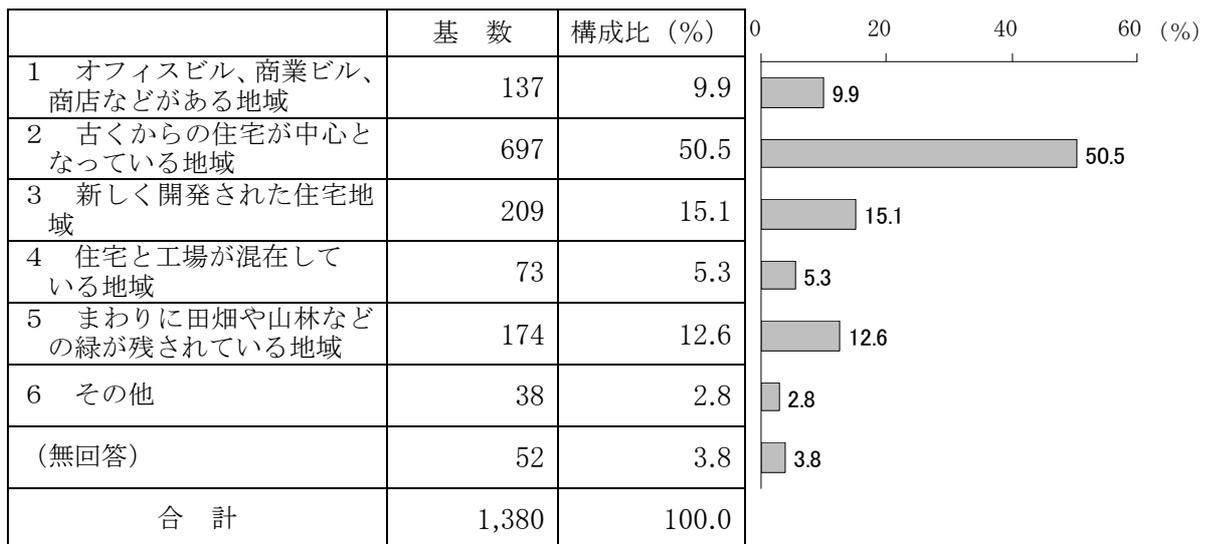
### 10 中学生以下の子どもの有無



### 11 65歳以上の方との同居



### 12 地域環境



### 13 町内会への加入状況



## 2 第2回アンケートの回答者

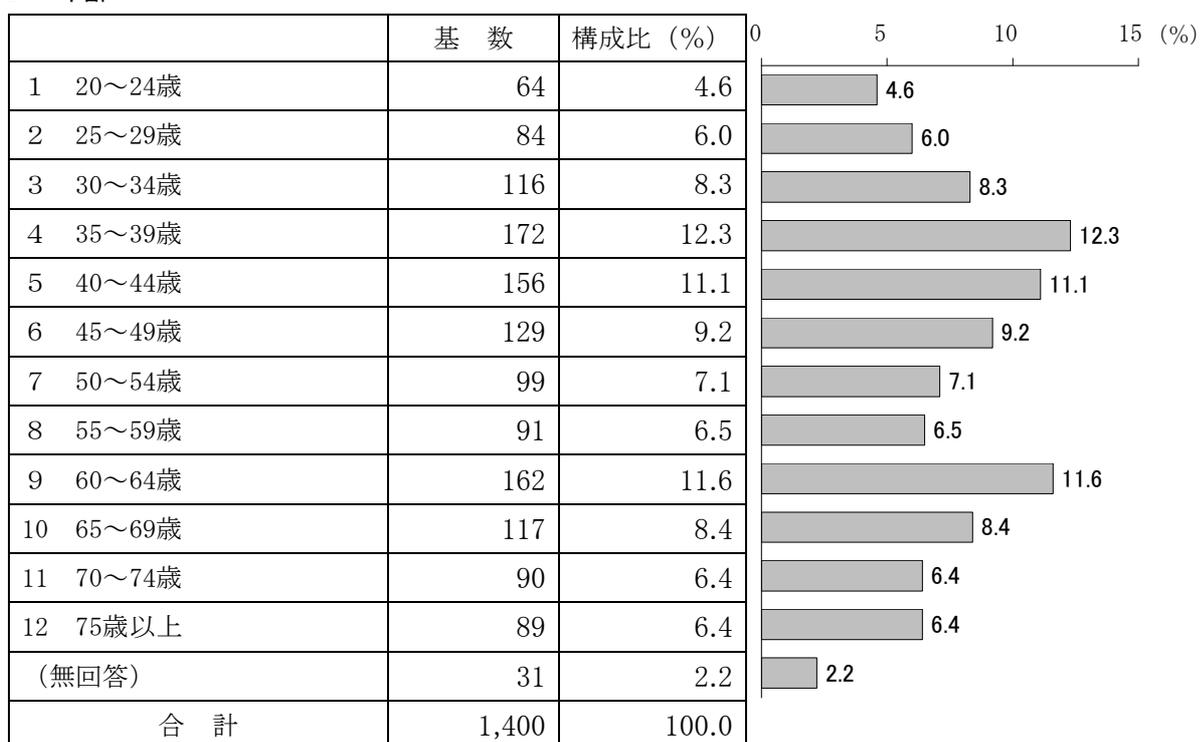
### 1 居住区



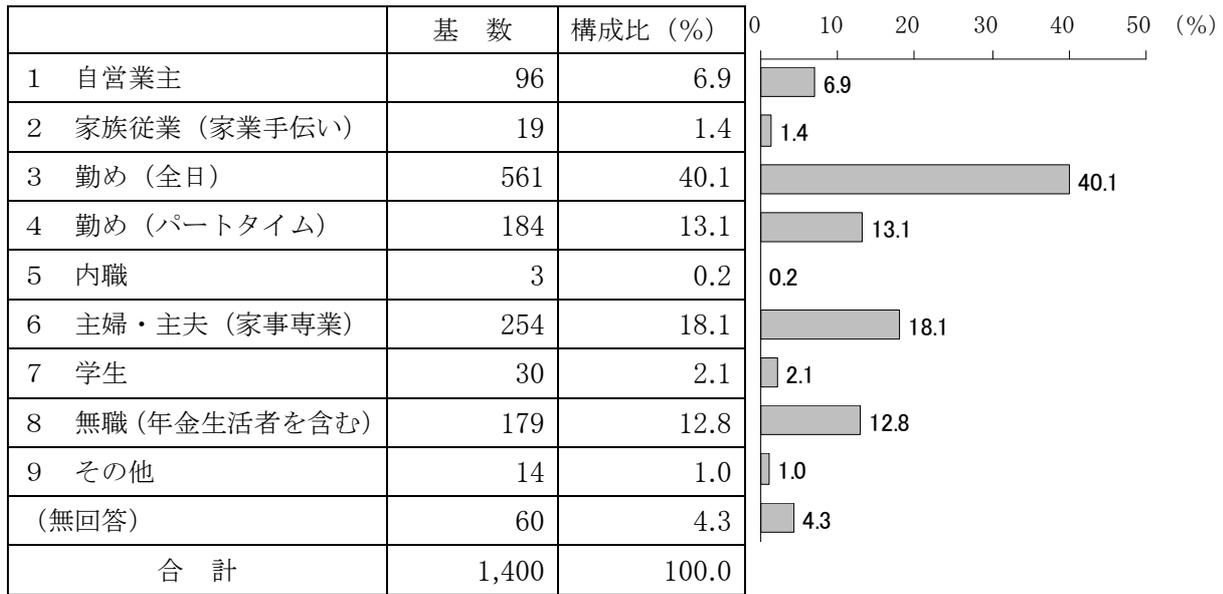
### 2 性別



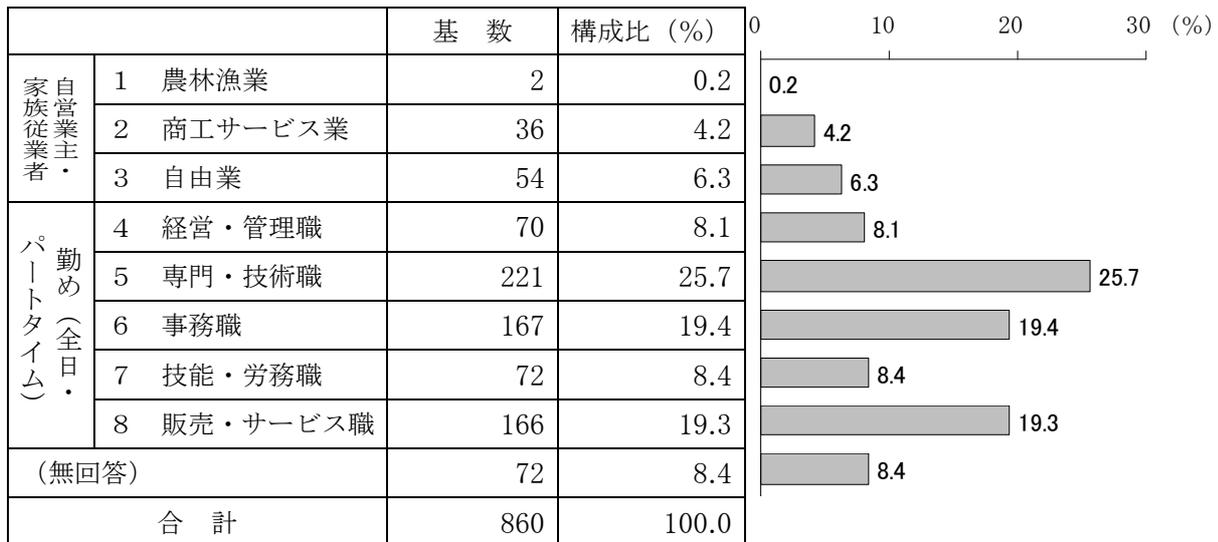
### 3 年齢



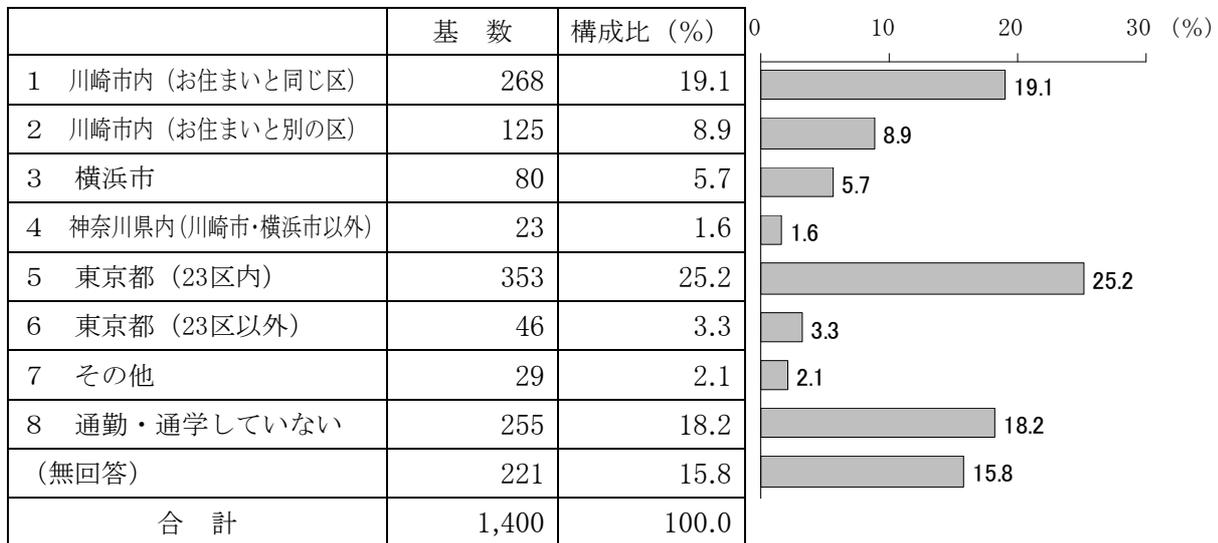
#### 4 職業



#### 5 具体的な職業内容



#### 6 通勤先・通学先



## 7 駅までの交通手段

	基 数	構成比 (%)
1 徒歩	725	51.8
2 自転車	178	12.7
3 バイク (原付含む)	27	1.9
4 バス	291	20.8
5 自動車 (送迎含む)	68	4.9
(無回答)	111	7.9
合 計	1,400	100.0

## 8 住居形態

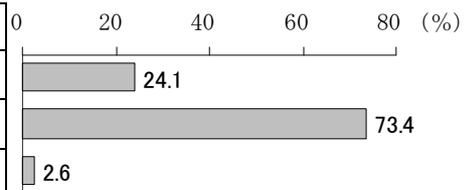
	基 数	構成比 (%)
1 持ち家 (一戸建)	561	40.1
2 持ち家 (マンション・集合住宅等)	385	27.5
3 借家 (一戸建)	16	1.1
4 借家 (マンション・集合住宅等・公営住宅)	272	19.4
5 借家 (民間アパート・間借・下宿)	110	7.9
6 社宅・寮・公務員住宅	30	2.1
7 その他	9	0.6
(無回答)	17	1.2
合 計	1,400	100.0

## 9 家族構成

	基 数	構成比 (%)
1 1人	182	13.0
2 2人	372	26.6
3 3人	376	26.9
4 4人	313	22.4
5 5人	88	6.3
6 6人	37	2.6
7 7人以上	15	1.1
(無回答)	17	1.2
合 計	1,400	100.0

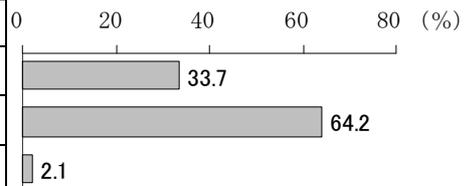
### 10 中学生以下の子どもの有無

	基 数	構成比 (%)
1 いる	337	24.1
2 いない	1,027	73.4
(無回答)	36	2.6
合 計	1,400	100.0



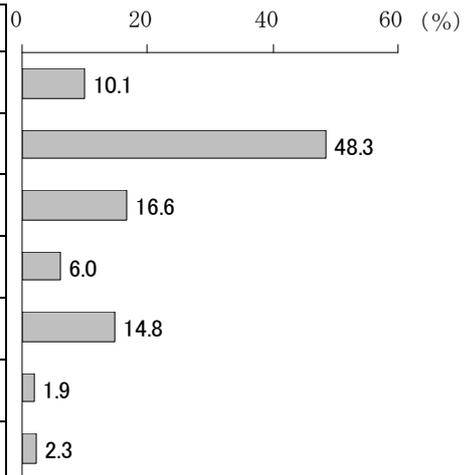
### 11 65歳以上の方との同居

	基 数	構成比 (%)
1 いる	472	33.7
2 いない	899	64.2
(無回答)	29	2.1
合 計	1,400	100.0



### 12 地域環境

	基 数	構成比 (%)
1 オフィスビル、商業ビル、 商店などがある地域	141	10.1
2 古くからの住宅が中心と なっている地域	676	48.3
3 新しく開発された住宅地 域	233	16.6
4 住宅と工場が混在して いる地域	84	6.0
5 まわりに田畑や山林など の緑が残されている地域	207	14.8
6 その他	27	1.9
(無回答)	32	2.3
合 計	1,400	100.0



### 13 町内会への加入状況

	基 数	構成比 (%)
1 いる	905	64.6
2 いない	470	33.6
(無回答)	25	1.8
合 計	1,400	100.0

